



十文字西地区 交流センター報

●令和6年7月15日号
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

十文字西地区交流センター
センター長 近 孝 夫



十文字西地区の皆様お元気ですか。

今年は新年早々地震や熊対応、さらに大雨による被害等で日本列島は揺れております。特に能登半島で発生した震度7の大地震による復旧作業は一段落したかと思いますが、長期展望に基づいた復興作業は今後の大きな課題ではないでしょうか。我が秋田県でも昨年の大雨を思い出される季節になりましたが、復旧後の復興作業がまだまだ道半ばと聞いております。早い時期の復興を心からお祈りしたいと思います。

さて、西地区交流センター事業には「過去を顧みながら、新しい知識を取り入れ、未来を創造する」事業として「ふるさと歴史探訪」があります。その一つが「植田・睦合地区にある神社巡り」であります。今年度は大石宮司さんの解説の下、7月10日（水）植田地区を中心に実施する予定であります。



7月（文月）の歳時記 ※歳時記シリーズ参照



- 7月の和名は「文月」（ふづき、ふみつき）
稲穂が膨らむ月と呼ばれ、稲穂が膨らむ月日本古来の伝統的な行事や6月ならはの風物詩がたくさんあります。また、田に水を引く月でもあり、梅雨明けの意も含まれ日に日に暑くなります。お体にはお気をつけください。
- 24日（水）土用の丑の日「土用入り」であり、8月6日は「土用明け」です。（因みに2024年は「一の丑」が7月24日で「二の丑」が8月5日です。）

～ 偉人の言葉に学ぼう ～

◆「人間関係をスムーズにする一言」より



あえて寸を進まずして尺を退く

（老子の言葉）

「条件が整わないうちに無理をして前進したいという欲求は強い。しかし、退くべきと見たら大きく退いてチャンスを待つことは、事業やプロジェクトを成功に導く要諦であろう。」

運営協議会 事業報告

6/23(日) 運営協議会 健康福祉班 事業 「みんなでウォーキング」開催



参加された「晴れ男・晴れ女」のおかげで、心配だった天気も味方し、無事に開催することができました。

参加記念品で「クマよけベル」を配布しました。ベルを装着し、クマ対策を万全にしてウォーキングを楽しんでいるようでした。終了後は、みんなで温か〜い豚汁とおにぎりを味わい、おしゃべりと笑顔があふれた朝食会になりました。

事業後のアンケートで、今後の課題となる意見を頂戴しましたので、運営協議会事業に役立てたいと思います。



地域の情報

6/16(日)「第3回睦合小学校まつり2024」が開催され、地域出身アナウンサーや地域担当保健師による講演、郷土芸能の演舞、フォークソング演奏等が行われました。地域の方が撮影した写真や創作品も展示され、旧睦合小学校体育館は賑わいが溢れていました。

